



## 学生たちの声で実現！

### 卒業式の服装を開学以来、初めて自由化へ。

武庫川女子大学ではこれまで制服着用を義務付けていた卒業式の服装を 2025 年度卒業式から自由化することを決定し、5 月 1 日から学内で周知を始めました。全学生でつくる学友会が約 1 年にわたりアンケートや総会を経て方針を決定。学長に卒業式での服装自由化を申し入れ、了承されました。総務委員長の梶原依織さん(日本語日本文学科3年)は「多くの学生たちの協力で実現しました。これを機に、学生が活発に意見を言える学友会にしていきたい」と話しています。入学式や指定の行事等では制服着用を続けます。

武庫川女子大学では黒色のタイトスカートまたはスラックスと上着、白ブラウスの制服を定めています。1949 年の大学開学以来、1990 年までは常時着用でしたが、1991 年に行事以外の着用は自由化されました。ただ、式典や学外実習等では着用が指定されており、学生たちは入学手続きの際に購入し、入学式から着用。就活用スーツとしても活用しています。

卒業式も制服着用が決まりましたが、式後に行われる謝恩会ではドレス等私服に着替える学生が多くみられ、近年は式後や別日に、袴に着替えてキャンパスで写真撮影する学生が増えていました。このため、レンタル衣装をあっせんする武庫女エンタープライズ(学校法人武庫川学院が 100%出資する会社)が 2022 年度から、指定のレンタル業者ごとに学内に着付けスペースを確保。学内で着付けやヘアアレンジ～返却までできるサービスを始めました。2024 年 3 月の衣装レンタル利用は約 740 件。うち、学内で着付けを行ったのは 490 件でした。式では制服着用のため、式後の時間帯に着付けの予約が集中していました。

学友会は大学に所属するすべての学生で構成される大学公認の学生団体です。総務委員会を

中心に6つの委員会があり、学生生活をよりよくするために活動しています。学科ごとに幹事会があり、学科の意見を集約して委員会に提言することができます。昨年度、経営学科の幹事から総務委員会に対し「卒業式の服装を自由化してほしい」という提案があり、これを受け、7月に全学生にアンケートを実施。10月中旬までに8割から回答を得ました。「自由化に賛成」が多数を占めたものの、「制服で列席したい」という声も1割程度みられました。

そこで、12月に再度、アンケートを実施。「制服を買う意味がなくなる」「制服があると就職活動などで使えて便利」などの声はあったものの、9割以上が自由化を支持しました。翌1月、公江記念講堂で委員会所属の学生約700人が参加した臨時総会で最終アンケート結果を報告し、過半数の承認を得て「自由化」の意思を確認。1月22日に総務委員会から学長にこれを報告し、了承を得ました。

対象となるのは現大学4年生と短期大学部2年生から。ただ、2024年度の卒業式(2025年3月)は通常通り、制服着用だったことから、総務委員会では「混乱を招かないよう」と、全学生への公表は5月まで控えていました。一方で、5月末から本格化する袴のレンタル予約に支障が出ないよう、5月1日に自由化を公表。ポスターを学内各所に掲示したり、SNSや学内オンラインサービスに情報を流したりして周知をはかっています。

この件に関する取材のお申込みは下記までお願いいたします。

■武庫川女子大学広報室

【電話】0798-45-3533

【メール】[kohos@mukogawa-u.ac.jp](mailto:kohos@mukogawa-u.ac.jp)



定例会に集まった学友会幹部の学生たち



学生が作ったポスター